ガバナー・広報委員紹介

「終の栖のまちづくり」を

国際ロータリー
第2650地区
ガバナー
川端　五兵衛

今年の活動テーマを私は「死に甲斐のある終の栖のまちづくり」こそロータリアンの使命であると定めました。簡単に申しますと、次の世代を担う人たちが社会不安に脅かされることなく、常に将来に向かってときめきを覚えることができる環境を残すことが私たちの使命であり、その究極の目的は、地域住民をして生涯をここで終えても良い、と思えるようなまちをつくることにあります。まちづくり運動の基本は①歴史に根づいたものであること②地域住民のニーズを読み違えないことであります。この意味で県下各クラブの奉仕活動は評価されるものであり、これからも大いに期待するものです。

奈良ロータリークラブ

環境イベント盛況

ロータリークラブも環境問題に貢献を、という思いが込められた環境イベント「いま、地球環境を考える」を二月七日、なら一〇〇年会館にて開催いたしました。

廃天ぷら油から精製された燃料でバスが走り、太陽電池パネルや家庭用燃料電池の紹介、電気自動車の試乗会、そして元環境大臣の小池百合子氏と環境のエキスパート末吉竹二郎氏を招いての講演会など、終日多数の来場者でにぎわいました。

足するのではという状態で、最後まで気を抜けない充実した一日となりました。一般来場者だけではなく、バスの出発式をはじめ各イベントには多くのメンバーが参加し、スムーズに運営ができました＝写真。

当クラブが提唱する奈良ロータアクトクラブは、奉仕プロジェクトの軸としてドッグセラピー事業を行っています。ドッグセラピーとは、セラピー犬として訓練を受け適正のある犬を連れて福祉施設や病院、学校などを訪問するというもの。同アクトクラブでは東大寺整肢園（奈良市田中町）やなら清浄苑（奈良市雑司町）などを訪問し、入所している子どもたちやお年寄りに大変喜ばれています。

奈良
ロータリークラブ
会長
城田　全康

当クラブは創立五十七年目を迎えます。創立以来今日まで、地域社会にいろいろな奉仕活動を行って参りました。本年度の地区テーマは「次の世代にときめきを」です。今を生きる私たちの責任は、次世代の若者たちに常にときめきを覚えるような環境を残すことであり、そのようなまちづくりを目指して我々は奉仕活動を続けています。

今後も一層の奉仕活動に邁進（まいしん）する所存ですので、本紙愛読者の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

大和高田ロータリークラブ

防災セットを贈呈

「社会奉仕に基づき、地域社会に浸透した奉仕活動を行う」というロータリーの基本理念に添って、昨年十一月十六日にユニチカオークタウン駐車場で開催されました「やまとたかだ元気ウィーク」の消防フェスタ（高田消防署主催）に参加し、ローターアクトの協力を得て献血の啓発活動を行い、その結果、六十五名の方に献血をしていただけました。

また十一月十八日には平岡仁・広陵町長（広陵町社会福祉協議会会長）に、七十歳以上の社会福祉協議会の配食サービスを受けておられる一人暮らしの方に送る、防災セット目録の贈呈式を行いました＝写真。

明けて二月二十五日、大和高田さざんかホールにおきまして、同市のほか香芝市、葛城市、広陵町の各地域の五歳児と先生方など千十名が集まり、すわらじ劇園による「不思議なバイオリン」の観劇会を実施しました。

この観劇を通して参加してくれた子どもたちは、自分の幸せだけでなく、助け合う心、人を思いやる気持ちの大切さを肌で感じていただいたようです。

クラブとしても、Rの今年度のテーマ「夢をかたちに」、また地区のテーマ「次世代にときめきを」に添うことができ、充実した一日となりました。

大和高田
ロータリークラブ
会長
中井　隆男

当クラブは、一九六一年に誕生以来四十八年が経過し、今日まで奉仕活動を継続してまいりました。現在、五十年という大きな節目を迎えるにあたり、よりすばらしいクラブづくりに邁進しております。

今年度の地区テーマは「次世代にときめきを」であり、これから成人する人、また生を受ける世代のために活動するものであります。

これからも将来を見据えた強い信念を持って、地域に愛され信頼されるようなクラブづくりを目指し、その役割を果たしていきたいと考えております。

平城京ロータリークラブ

障害児らと夏祭り

昨年八月三十日に奈良県立奈良養護学校にお邪魔をはじめ教職員や同窓生など、総勢二百五十名の参加による「やっぱ！夏祭り！」を開催いたしました。

今回のプロジェクトでは、単にロータリアンがバザーをするということだけではなく、夏祭りを通じて障害を持つ子供たちやその家族との、交流の場を作るということを念頭に企画いたしました。奈良養護学校にいる生徒たちの中には、健常者が普通に食べている食事でも特別なミキサーで細かくしないと食事できない子供たちがたくさんおられます。その生徒たちと保護者の皆さんがロータリアンと同じテーブルを囲み、いろんな話をしながらその家族が楽しく時を過ごせるようにという思いがあり、またイベントの一つである金魚すくいでは、子供たちのすくいやすい網を作るとか、障害をもった子供たちを主体とした夏祭りを計画いたしました＝写真。

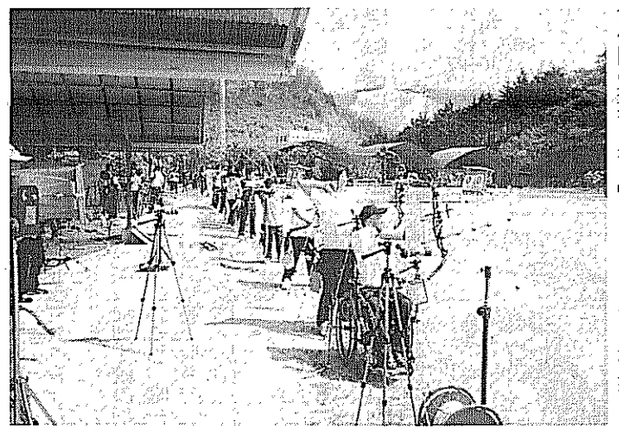
このような活動をすることにより、ハンディキャップを持つ子供たちや保護者との交流を図りながら、我々ロータリアンがどのようにかかわっていけるか、また子供たちが健やかに育つ環境づくりをするにはどのようにすれば良いのか、ということをあらためて考え直す機会になればと思っています。

平城京
ロータリークラブ
会長
横田　進

明年二〇一〇年の平城遷都一三〇〇年の年に、わが平城京ロータリークラブは創立二十五周年を迎えます。チャーターメンバー会員をはじめ元会員であられた方々を含め、これまで平城京ロータリークラブの維持発展を支えてくださった方々に感謝するとともに、それぞれの分野において平城京ロータリークラブの名に相応した、実りある活動を継続できればと願っています。

桜井ロータリークラブ

青少年参加の催し



桜の満開のころ、倉橋ため池湖畔を会場として桜井市内の新世代（保育園児～小中学生、青少年）を主な参加対象とした「さくら祭り」を行っています。その目的は「楽しく、そして自然に親しみながら世代間の交流を行う」ことです。例えば竹や木を使った遊び道具の製作などを通し、お互いの知恵や知識の交換の機会としています。

児童鼓笛隊の演奏、医師による健康相談なども同時に行い、本年は四月五日に実施いたします。ただ、桜井市でありながら桜の名所がないため、ため池周辺に桜の植樹計画も併せてすすめております。

毎年、当クラブ主催で青少年健全育成を目的としたアーチェリー大会を実施しています。県下から多くの青少年（約百五十名）が参加し、当クラブの会員も加わって有意義で楽しい大会となっております。この活動はロータリーの地区委員会からも認められ、ガバナー賞を受賞いたしました＝写真。

外国人留学生への援助も毎年行っております。今年度は中国の新疆ウイグル地区の留学生ニヤズ・アイニシャさん（奈良女子大在学）への援助を行っており、また中華民国の台南北ロータリーと姉妹関係を結び、お互いに交流して国際的友好関係を進めています。

桜井
ロータリークラブ
会長
川田　利明

当クラブは、昭和五十年に日本の国発祥の地、桜井で創立されました。以来三十四年間にわたり各業種のリーダー的な人々が会員となり、奉仕活動を行ってきました。現在会員は五十一名で、それぞれが社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕などの奉仕活動を分担して行っています。

今年度は「次の世代にときめきを」のテーマのもと、地域社会に根ざした奉仕活動を行い、次世代を担う子供たちによい環境を残すことに努めています。

あすか ロータリークラブ

高齢者と若者交流

九月二十八日にかしはら万葉ホールにて、高齢者と若者との交流イベント「笑って・ふれて・元気・長生き」を開催いたしました。参加者皆さまが元気いっぱい笑顔のシャワーを浴びて、明日への活力としていただきたいと事業を企画しましたところ、八百四十二名の参加者のもと、盛大に開催することができました＝写真。

本年度の当クラブ奉仕プロジェクト委員会は、高齢者に焦点を向けて活動をしています。団塊の世代がいよいよ高齢者の仲間入りの時を迎える今日、近い将来には超高齢社会の到来が予測されています。私どもは四年前から新世代委員会が軸となり、子供たちに昔の遊びを通じて人と人とのコミュニケーションを養いたいという考えのもと、青少年健全育成プログラムとして「昔遊び・大集合」という事業を続けてまいりました。

本年度は募集年齢を上げて「チームあすか」という新世代ボランティア組織をつくりました。この組織には大学生から社会人、そして海外留学生・研修生らに参加協力していただき、高齢者と新世代がこの事業を通じ「誰も一人では生きていけない、共に助け合い生きていくのだ」ということを実感することができました。

あすか
ロータリークラブ
会長
大川　洋之助

私たちはこのほど、地域社会の高齢者と若者との交流の場を創出することを目的に、「笑って・ふれて・元気・長生き」というイベントを実施しました。この結果、高齢者と若者の双方にエンターテイメント（人を楽しませるもの）を提供し、さらに若者が高齢者にホスピタリティー（親切なもてなし）を提供するという交流の新しい形を「明るく、楽しく」実現することができました。今後も、会員の集中力と総合力を発揮できる社会奉仕を企画実行していきます。

生駒ロータリークラブ

専門家らが相談会

昨年五月に放送が開始されました、市民のための放送局「タウンチャンネルいこま」への支援活動として、現在ロータリークラブの活動を紹介する「ロータリーの広場」と題した三十分番組を、一日に八回放送しております。

また八月二日開催の「いこまどんどこまつり」では、当クラブは四年前より模擬店を出店し、来場される子供たちや家族の皆さまに喜んでいただけるよう毎年工夫しています。また祭団扇や打ち上げ花火に対する協賛を行い、夏休みに帰省されている方、近隣の皆さまの憩いのひとときに協力しています。

年が明けて一月三十一日に、今年で十一回目を迎えた「よろず相談会」を近鉄百貨店にて開催いたしました。この相談会では当クラブ会員の弁護士や税理士などが中心となり、無料で市民からの相談を受け、専門知識を生かした奉仕を行っております。

生駒
ロータリークラブ
会長
津田　忠徳

当クラブは一九七六年に大和郡山ロータリークラブを親クラブとして創立され、今年で三十三年目を迎えました。ロータリークラブ設立の理念のもと、会員相互の信頼の醸成と親睦を図るとともに、桜苗木の植樹やみどりの基金への寄付、よろず相談会の開催など、さまざまな地域社会への奉仕活動に力を入れてまいりました。私どもロータリークラブでは、市民の皆さま方による地域の発展に、今後とも貢献したいと考えております。

国際ロータリー
第2650地区
広報・雑誌委員長
武部　宏

昨年の三月に奈良新聞紙上で県下十三クラブの活動を全ページでご紹介いただきありがとうございました。その後、七月五日に京都で行われた第二六五〇地区の広報委員長による全体会議の席上で、当日の掲載紙を高々と掲げて見せ、奈良新聞社が全ページを割いてロータリーの活動を紹介してくれたことは、各クラブが地域社会のニーズにあった活動をしていること、ロータリークラブが地域社会になくてはならない存在であることを認め評価してくれたからこそ、新聞社の企画として大きな記事になったのだと思います。併せてこの記事に恥じない、さらなる活動と広報展開をいたしましょうと呼びかけました。

地区内には九十六クラブがありますから活動内容にも地域の特色が出てまいります。県下のクラブの方針と活動を見ていただきますとお分かりのように、各クラブがロータリーの理念の下に互いに競い合いながら地域社会のお役に立つ活動を目指しているところでく、奈良新聞に県内のロータリアンの結集した活動を掲載していただきましたことに、大変感謝を申し上げます。今後も将来に向け大きく前進をして参りますので、なにとぞ県内のロータリアンにご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

国際ロータリー
第2650地区
広報・雑誌委員会委員
（大和高田ロータリークラブ広報委員長）
井上　繁未

今年度は県内ロータリー会員の皆さまには大変お忙しい中、各種の奉仕への立案、参加とご苦労さまでした。

こうして奉仕へのつながりが社会奉仕、職業奉仕、新世代への奉仕と決め実施された事に、大いに敬意を表します。

今回も昨年と同じく、奈良新聞に県内のロータリアンの結集した活動を掲載していただきましたことに、大変感謝を申し上げます。今後も将来に向け大きく前進をして参りますので、なにとぞ県内のロータリアンにご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

国際ロータリー
第2650地区
広報・雑誌委員会委員
（生駒ロータリークラブ広報委員長）
久保　周三

今年度私は、自クラブの広報委員長と第二六五〇地区広報・雑誌委員会委員兼任という立場を得て、改めてロータリークラブの広報とはどういうものかを勉強させていただいております。

私たちロータリアンの根幹とも言うべき「職業奉仕」の精神、すなわち自らの職業を全うする事によって社会に奉仕することは当然の事であり、なおかつ国際ロータリーは地球上からポリオを絶滅させるための世界最大の支援団体であり、それぞれの地域の各クラブの皆さんが、知恵を絞って様々な奉仕活動を行っている事を、この特集記事を通して少しでも多くの市民の方々に知っていただけたら幸いに存じます。

ロータリークラブの活動内容にご興味のある方、入会をご希望の方はぜひ、地元のロータリークラブまでお問い合わせください。

国際ロータリー第2650地区
県内13ロータリークラブ活動報告
2008年度～2009年度

奉仕の力を結集

次の世代にときめきを

地域に笑顔と活気

橿原ロータリークラブ

当クラブが提唱する、橿原ロータリークラブと橿原学院高等学校インターアクトクラブでは、育成を通じて地域の将来に向けての若い人材の発掘に力を注いでいます。

ロータークトクラブとは、十八歳から三十歳までの青年男女が、親睦と奉仕活動を通じて自らの能力の開発に役立つ知識や技能を身につけ、その地域や世界に貢献する運動をしています。現在十七名のメンバーが活動中で、今年度は不要になったボタンを集め、ミャンマーのHITOセンター（日本語教育と縫製指導を行うことを目的としたボランティア団体）へ届けようと思っています＝写真。

また、インターアクトクラブは、奉仕と国際理解に貢献する目的で、世界的に友好を結び活動する機会を与えるため結成し活動しています。高校に在学中の学生または年齢が十四―十八歳までの若い人で結成されています。毎年福祉施設「かなはし苑」に音楽慰問を行い、また定期的に学生を海外派遣し、昨年は三名をタイに派遣しました。

また、本年度も米山記念奨学生の受け入れを行い、欧州ウクライナからの女学生を二年間にわたりホストしており、日本と母国との友好の橋渡しをしてくれるようにサポートしています。

若者の活躍に期待

橿原ロータリークラブ
会長
増田　善昭

本クラブは、奈良県下では二番目の設立で、本年度は五十二年目に当たります。最近では若いメンバーが比較的多くなり、今までの歴史と伝統のあるクラブとのイメージから、彼らの感性や行動力を生かした、若さあふれる活動的なクラブへと変身を遂げつつあります。

本年度は職業奉仕、すなわち自らの職業を通じて社会などに貢献奉仕するという精神を、「われわれのまちを見直そう」とのサブテーマを掲げ、「まちづくり」にも取り組んでいます。

五條ロータリークラブ

医療懇話会に参加

昨年七月二十三日に五條市老人福祉施設の花咲寮を訪れ、物故者法要を営みました。入寮者の方々と多数のクラブ会員が参加してのしめやかな法要のあと、夏休み中の小学生二十一名の参加を得て慰問行事を行いました。懐かしい小学唱歌や童謡など、入寮者と入寮者の方々に喜んでいただきました。

十月五日には五條市主催のチャレンジウオークにも参加・協力致しました。このイベントは市内二一・〇九七五㌔を完歩しようとするもので、毎年千名が参加します。コースの途中に開設した「ロータリーの泉」では、参加者にスポーツドリンクやお茶を提供し元気を回復、完歩を目指していただきました＝写真。

十二月七日に開催されました「県立五條病院健康フェスティバル」に協賛し、腹話術士の川上のぼる氏をゲストとしてお招きし、患者さんをはじめ職員や当日参加された方々を、笑いの世界に引き込んでいただきました。また年末に催しておりますクリスマスコンサートでは、毎年患者さんたちに楽しんでいただいております。

県立五條病院と地域医療を考える懇話会にも参加し、これからの地域医療に対しての考え方を述べています。

五條
ロータリークラブ
会長
久保　久彦

当クラブは、昨年創立五十周年の節目の年を無事過ごし、今年は新たなスタートの年となります。現在の会員数は最多に比し、ほぼ半減の三十五名の陣容ですが、「照顧却下」一歩一歩各種奉仕活動に励んでいます。

「次世代にときめきを」「地域社会との共生」を旗印に、福祉・青少年健全育成・環境保全に重きをおき、何事も量より質にシフトを変えなければ、の年になるようです。

奈良東ロータリークラブ

献血への協力訴え

世界平和という目標のもと、地域に根付いた夢のある奉仕活動の促進と、ロータリアン同士の親睦の両輪を持って、本年度は以下の活動を行いました。

昨年八月三十一日に当クラブ恒例行事である献血活動を、奈良県赤十字血液センターの協力のもとJR奈良駅東口広場にて行い、多数の方々に献血していただきました＝写真。

十月十五日の県下ロータリークラブ親睦ゴルフ大会では、百余名のロータリアンの参加を得てなごやかなうちにも盛大に終えることが出来ました。またチャリティー収益金を第二六五〇地区・世界社会奉仕委員会（WCS）に寄付させていただきました。

そして十月二十九日には、海外友好クラブである韓国釜山沙下RCの来訪があり、東大寺や正倉院展の拝観のほか、合同例会および懇親会と、互いの交流を深めて日韓交流の一助となりました。

来る三月二十二日には奉仕プロジェクト事業として、奈良市社会福祉協議会の協力にて「手をつなぐ親の会」の皆さまとの交流を予定しており、また四月八日には国内友好クラブである福島県郡山東ロータリークラブをお迎えし、奈良市と姉妹都市でもある郡山市のロータリアンとの交流を深める予定です。

奈良東
ロータリークラブ
会長
倉本　尭慧

いよいよ新しい年度の始まりです。まず、本年度は減少した会員数を増強していきたいと思っています。

ロータリー活動は奉仕と親睦の両輪から成り立っています。奉仕活動は、社会奉仕および職業奉仕を中心とした奉仕プロジェクトにより、地域に根付いた奉仕活動をしてまいる所存です。会員諸氏に愛のある慈悲の心を持って接し、さらに親睦の輪を広めたいと思っています。そうすることによって、全員参加の奉仕活動は達成すると確信いたします。

大和郡山ロータリークラブ

園児らと金魚放流

大和川の清流復活をさと大和川七夕まつりを昨年八月九日に開催いたしました。

十月二十二日には、大和郡山城跡外堀緑地において大和郡山名産の金魚の放流を行いました。当日は上田清・大和郡山市長のほか、大和郡山市立幼稚園の児童と保護者・先生方をお招きし、園児たちが金魚を放流し、群れをなして泳いでいるのを目を輝かせながら見ている姿に感激しました＝写真。

また十一月二十二日に訪れました福寿園では、茶室でお茶を一服いただきながらお話を伺い、館内にてお茶の製造工程や歴史を見学しました。

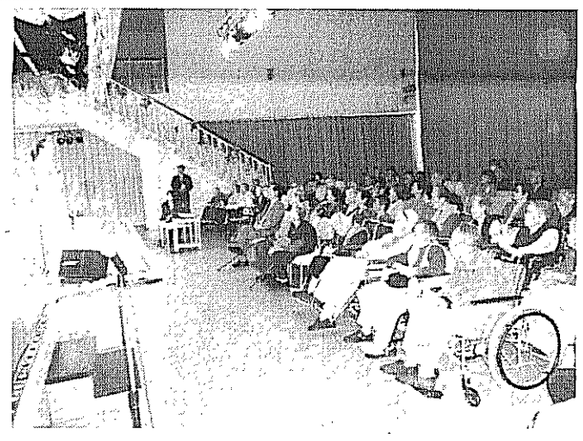
今後の予定では、大和郡山市営球場にて四月二十九日と五月五日の両日に、参加十八チームによる当クラブの主催行事「第十四回少年軟式野球大会」を開催いたします。

大和郡山
ロータリークラブ
会長
菊岡　成泰

当ロータリーはこの一年、ロータリーを歯車の歯として「奉仕の歯車をまわそう」をテーマに、また会員相互の親睦を深めるため、ロータリーの歌「奉仕の理想」（奉仕の理想に集いし友よ。望むは世界の久遠の平和。めぐる歯車いざ輝きて、永久に栄えよ我らのロータリー）の気持ちを持って夢を追い続けてきました。

ロータリーは、職業の異なった方々との話し合いからお互い切磋琢磨（せっさたくま）しあい人格を高めていく場であり、日本人らしい思いやりのある、豊かな心で奉仕活動を行ってまいります。

王寺ロータリークラブ



ポリオ撲滅に協力

国際理解を深め、子供の死亡率低下に協力する世界各国のロータリークラブと親善を深めるため、世界からポリオを撲滅する運動にも協力し、一人でも多くの子供たちの将来を明るいものにしたいと願い活動しております。

また経済的に恵まれない子供の里親事業に参加し、子供たちの将来の夢への実現のために経済的援助を行うことや、台湾の友好クラブである基隆東南扶輪社と毎年相互訪問を行うことにより、交換学生の相互受け入れも実施しております。

王寺中学校の職業体験学習ではロータリー会員の職場を体験する場所に提供するなど、各会員の職業を生かした社会活動を行っております。また地元の「元気な会社」訪問を実施し、そのノウハウを学んで自らも「元気な会社」づくりをめざして自己研鑽（けんさん）しております。

老人介護施設への慰問を定期的に実施しており、昨年は上牧町の郁慈苑を訪問し「世代を超えて思いやりの心を育もう」をテーマに、オペラ歌手の内海緑さんをお迎えし、入所者の皆さまといろいろな年代の人たちが音楽と遊び心を通じて、思いやりの心を学ぶ機会をつくることができました＝写真。

今後も地域の方々に喜んでもらえるような社会奉仕を考え、実施したいと思っております。

王寺
ロータリークラブ
会長
寺下　武

当クラブは、県下十三クラブの中では規模の小さなクラブではありますが、この少ない会員全員の力を結集して奉仕活動を行っております。

たとえば春と秋には献血運動に参加し街頭に立って献血を呼び掛け、また年二回の老人ホームへの慰問を行うなど、地域の皆さま方と一緒になって王寺ロータリークラブでできることを、そして真心のこもった活動を目指し、これからも会員全員が協力しあって奉仕活動を広げていく予定です。

奈良大宮ロータリークラブ

創立30周年で植樹

子どもたちが犯罪の被害に遭わないためのキーワードを歌詞にした音楽DVD「いかのおすし一人前」を、奈良県下の全小学校や幼稚園、保育所に配布いたしました。また奈良市立三笠中学校を訪問し、生徒たちと当クラブメンバーがいろいろな話をし、ともに作業をいたしました。その中で働くと言うことはどういうことか、それがいかに大切なことであるかを体験していただき、新世代の育成の一助としました。

我々の誇りである奈良の文化財と春日山原始林。それらが今、酸性雨や土壌の流出などの環境悪化にさらされ、重大な被害を受けつつあります。たとえ微力であってもそれらを守り、次の世代に引き継ぐために、三カ年にわたり、東大寺境内にサルスベリの植樹を続けてまいりました。

我々奈良大宮ロータリークラブは、今年創立三十周年を迎えることができました。それを記念して、われわれは各所に「ナラノヤエザクラ」を植樹いたしました＝写真。

また奈良県文化会館およびなら一〇〇年会館に、環境に配慮した間伐材を有効利用したベンチを多数設置いたしました。会館をご利用いただく方や近隣の方々の憩いの場になればと思います。

奈良大宮
ロータリークラブ
会長
佐川　肇

当クラブは一九七九年に創立して以来、今年で満三十年を迎えることができました。これを記念して数々の奉仕活動を実施いたしました。歴代会長様をはじめ、ロータリアンの諸先輩が取り組んでこられた奉仕の理想の実現に、これからも会員一同邁進してゆく所存です。

奈良西ロータリークラブ

介護や福祉考える

現在、介護問題と日本の明日を担う青少年の育成は重要な課題であります。また快適な居住環境を保つことも日常の生活に不可欠となっています。そこで当クラブではこれらを社会奉仕事業の柱に掲げ、以下の活動を実施してまいりました。

介護問題につきましては社会福祉法人中川会と協力し、昨年八月二十四日開催の夏祭りに参加しました。施設の職員や体の不自由な利用者と生活体験を共有することにより、現場の苦労を味わい、福祉のあり方を考えるというのがその趣旨であります。当日は市民を含めて約五百人が参加し一緒に楽しみました＝写真。

青少年育成につきましては、奈良の夏のメーン・イベント「燈花会」に高校の美術系生徒が参加し、教師や若者たちのユニークな造形作品を奈良県文化会館前広場に陳列致しました。当クラブの会員でもある彫刻家が制作を指導し、作品の材料などを提供しました。

住みよい環境づくりの一環として、三月から「ごみ・たばこのポイ捨て防止運動」を実施いたします。ごみくずやたばこの吸い殻などのポイ捨ての防止を呼び掛ける立て看板を制作し、設置場所については現在奈良市と協議しており、また奈良市長もこの運動に参加する意向を示しております。

奈良西
ロータリークラブ
会長
小原　壮一

当クラブは、一九六九年のチャーター以来、本年十二月にめでたく四十周年を迎えることとなります。私は昨年来より当クラブの広報活動の中心をホームページ（HP）の充実と決め、さまざまな改良に着手しました。HPを見ることでリアルタイムに我がクラブの活動を知ることができ、ロータリー外の方々に見ていただくことが大きな目的の一つであります。当クラブのHPを見て、入会される方が出てくることを心から待ち望んでおります。